

NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

平成22年8月25日
TB10-327

マッハライ・ナーゲル社と国内における独占販売契約を締結

タカラバイオ株式会社(社長:仲尾功一)と、独国マッハライ・ナーゲル社(MACHEREY-NAGEL GmbH & Co. KG、デューレン市)は、マッハライ・ナーゲル社の核酸精製用試薬等の日本国内における独占的な販売を当社が行うことに合意しました。当社は、当該製品の販売を国内において2010年10月1日より開始します。

核酸精製用試薬は、遺伝子解析などの基礎研究や分子診断、遺伝子検査、環境分析および法医学などの分野において、解析対象となる核酸の前処理工程で利用されています。これらの分野では、PCR、リアルタイムPCR、高速シーケンシング、マイクロアレイなどの様々な解析技術の普及に伴い、それぞれの手法に適した核酸精製用試薬へのニーズが高まっています。

マッハライ・ナーゲル社は、細胞や組織切片、血液および食品など、様々なサンプルに対応した核酸精製用試薬を中心とした製品ラインアップを有しており、核酸精製の分野では世界で確固たる地位を築いています。当社のPCRをはじめとした遺伝子解析用試薬のラインアップに、その前処理で使われるマッハライ・ナーゲル社の核酸精製用試薬が加わることで、研究者に遺伝子解析のトータルソリューションを提供することが可能となります。

当社は、これまでに築いてきた遺伝子工学研究用製品の販売網を活用して、マッハライ・ナーゲル社製品の販売を行い、発売から1年間で3億円の売上を目指します。また、両社で協力して市場ニーズに応える新技術・新製品を開発するといった取組みも行っていきます。

マッハライ・ナーゲル社製品例



製品・サービスの詳細やご購入については、当社営業部営業企画担当
(TEL:077-543-7231)にお問い合わせください。

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この資料は、8月25日に京都経済記者クラブに配布しています。

この件に関するお問い合わせ先
タカラバイオ株式会社
バイオインダストリー部
Tel 077-543-7235

<参考資料>

【マッハライナーゲル社の概要】

会社名 : MACHEREY-NAGEL GmbH & Co. KG
設立 : 1911 年
代表者 : Carolin Wagner, President & CEO
売上高 : 100 百万ユーロ以上 (2009 年)
従業員数 : 約 500 人
住所 : Neumann-Neander-Str. 6-8
: 52355 Düren, Germany
事業概要 : 核酸精製試薬、タンパク質精製試薬、pH 試験紙、各種フィルター、水質検査試薬およびクロマトグラフィー関連製品などの開発・製造・販売
ホームページ: <http://www.mn-net.com/>

【語句説明】

核酸

核酸は、塩基、糖およびリン酸からなるヌクレオチドが連なった生体高分子で、主に DNA (デオキシリボ核酸) と RNA (リボ核酸) の 2 種類があります。核酸は、生体内で遺伝子からタンパク質が作られる過程において、重要な役割を担っています。

PCR

Polymerase Chain Reaction (ポリメラーゼ連鎖反応) の略称です。温度サイクル装置 (サーマルサイクラー) を使用し、微量の DNA を数時間のうちに数百万倍にまで増幅する技術です。

リアルタイム PCR

従来の PCR 法は、サーマルサイクラーという機器で目的 DNA を増幅した後、増幅産物を電気泳動で解析するという手順で行われています。リアルタイム PCR 法では、サーマルサイクラーと分光蛍光光度計を一体化した機器を用いて、PCR での DNA 増幅産物の生成過程をリアルタイム (実時間) で検出し、解析できます。DNA 増幅産物の生成の過程を連続して観察できるため、より正確な定量が可能となります。また電気泳動を行う必要がないため、解析時間の大幅な短縮が可能となります。

高速シーケンシング

高速シーケンサー (次世代シーケンサー) と呼ばれる、数百万から数億個の塩基配列データを並列に大量取得することができる装置を用いた塩基配列解析です。当社では、ロシュ社の GS FLX、イルミナ社の GAIIx、ライフテクノロジーズ社の

SOLiD3Plus の 3 種類の高速シーケンサーを導入して、受託解析サービスを提供しています。

マイクロアレイ

DNA チップとも呼ばれる、多数の DNA 断片がスライドガラス等の基板の上に高密度に配置されたチップを用いることによって、数万種類といった遺伝子の発現量を一度に調べることができる技術です。